

## 小吹さんのお話を聞いて

- ① 今回の授業は経済的な話が多くて難しかったです。以前に児童労働の授業のときにもでてきたフェアトレードの話でしたが、今の日本ではあまり普及されていないくて、自分もあまり意識したことがありませんでした。でも貧困問題を解決するための方法の一つだと思います。またこの方法は建前だけの援助とは違い対等にビジネスをする、自分もこちらの方がハッキリしてていいと思います。児童労働は強制的に働かされている子供いますが、親の事情で働いている子供もいます。その中で子供を働かないようにする運動をしても子供達の家庭が良くなるわけではありませんし、援助金にしても一時しのぎにしかならないと思います。しかしフェアトレードが普及化されて収入が多くなれば、少しは家庭も余裕ができると思います。マイクロファイナンスももっと普及するべきだと思います。借金をするのはあまり良いことだとは言えませんが、マイクロファイナンスによって自分で生活を立て直すという考えはいいと思います。人の力ばかりを借りて生活を立て直しても、その後の維持が難しいと思います。しかし自分で努力して立て直した生活ならその後なんとかやっていけると思います。建前とかではなく貧困者としても見下すのではなく対等に向き合うべきだと思います。
  
- ② 今回の授業を聞いて、大事なのは伝えることだと感じました。なぜなら皆フェアトレードのことを知らないから、その商品を買おうと思わないし、普通のものよりも割高だからきっと高級品なんだなで終わってしまうからです。後もうひとつ大事なのは実際にそれを買うことだと思います。私の近所にあるパスタ屋にフェアトレードのコーヒーが売っていて、なんかこの店いいとこだなあって思えてきて、コーヒーが飲めないくせにそれを買いました。まあ私の場合は自己満足的な感じですけど、そうやって需要者が増えてくれたらなあと思いました。  
小吹さんが日本でフェアトレードのチョコを作るように私達消費者が訴えるのが一番だとおっしゃって、後フェアトレードは身近なモノから世界を変える材料だと聞いてちょっと嬉しかったです。なぜなら、小吹さんのように貧しい人達を少しでも少なくしようとそれを職業として自ら活躍している人、いわゆるプロ野球選手やプロサッカー選手のような選ばれた人ではなく、私のような何かしてあげたいとは思うけどそのために自分の人生をそれに捧げるというのは正直無理だなんて思う、いわゆる観客タイプ。そんな私達の声が世界を救う第一歩なのかなって思うとなんか頑張ろって思えました。
  
- ③ 今回フェアトレードとオイコクレジットのお話を小吹さんからお聞きし、フェアトレードについての復習が出来、また知らなかったことも知れ、全くと言って良いほど知らなかったオイコクレジットについて知れて良かったと思う。まずフェアトレードについて思ったことが点ある。それは日本はもっとフェアトレードを普及すべきだということだ。私はあまり買い物に出掛けたりはしない方だと思うが、それでもたまには買い物に行く。行った先々で今まで一度もと言って良い程、国際フェアトレード認証ラベルの貼られた商品を見たことがない。多文化共生の授業でフェアトレードのことを知る以前は存在すら知らなかったが、授業でフェアトレードを知り、その後買い物へ行っても見掛けない。これではせっかくの良い制度も認知度が低く、またフェアトレードの商品を扱っている店も少なければ、意味がない。コストは掛かるが、もっとメディアを使い宣伝すべきであると思った。そしてもっとフェアトレードをビジネスとし、活動する団体が増えれば良いなと思った。  
次にオイコクレジットについては初めて存在を知り、そして、素晴らしい制度であると思った。『少額の無担

保の融資』。そして返済率がとても高い、また借り手の 85%が女性。従って女性の地位向上にも繋がり、且つ貧困の削減にも効果がある。まさに一石二鳥である。そして現在の状況からの脱出のみに金の使い道を限定し、商売や就学の為の資金等にすることに因り、無駄な融資も減る。また『融資』である以上、返済が必要だ。この点もオイコクレジットの良い点であると思う。返済する為には当たり前だが金が必要だ。つまり稼がなくてはならない。だから借りている人々は働く。そうすれば地域の経済も活性化される等のメリットもあると思う。また金を借りるということで責任感も身につけることが出来ると思う。そうなれば人は自立すると思う。そして、ビデオにあったバングラデシュの女性の例が世界中で起こり、貧困が少しずつでよいので減少してほしいと思う。また、オイコクレジットに投資された金は確実に貧困層の支援に充てられる。だから、投資する側も安心して投資出来ると思う。今回、私が全く知らなかったことについて知れて、本当に良かったと思った。

④児童労働やフェアトレードといった話は今までも授業などで聞いたりしたこともあって今回の話をきいてあらためて考えさせられた。自分たちよりも小さい子供たちが、学校にも行けず働かなければならない状態になっているっていう国もある。私たちが今こうやって学校に通ったり、3食ちゃんと食べれるってというのは当たり前のように感じるが、世界に目を向けたらそれが当たり前じゃないっていう世界が広がっているのが現実だ。

そんな今あまり不自由を感じずに過ごせている私たちが、世界に目を向け「世界ではこんなことが起きている」ってものをただたんに机に座って授業で聞かされても、あまりに現実離れしていてそれについて考えようとしないうってのが正直なところではないだろうか？

だが、もし自分が目でみたり体験したりその現場に携わっている人などから話を聞くことがあれば少しは考え方も変わっていくような気がする。だから、今回のように実際に現場にいて体験したことを、小吹岳志さんから聞く機会があったことはすごくいい経験になったと感じる。

⑤フェアトレードは以前に聞いたことがありました。でもあまり詳しくは知りませんでした。フェアトレードは途上国の人が作ったものを買うという、ビジネスとして支援するものでした。ビジネスという形だと、他の機関からあまり邪魔されることも無く、お金だけをただ与えて支援するというよりは良い方法なのではないかなと思いました。私たちが普段何気なく購入しているチョコレートも、実際に児童労働や悪環境の中で働いた人々によって作られたものだと考えると、フェアトレードをもっと広めていくべきだと思いました。フェアトレードとそうでない商品の価格の差は3倍近くもあると知って驚きました。100円のチョコレートのうち、カカオ生産農家に入るお金は8円程度で、その間に入っている業者が利益をほとんど取ってしまっています。同じくコーヒーでも生産農家に入るお金は1%にも満たない状況です。この状況は変えていかなければなりません。フェアトレードは生産者の生活を支えるのにとっても重要です。実際にフェアトレードに参加している生産者たちは給料も安定し、家族を養えるようになったり、子供を学校へ通わせることができるようになった人たちもいます。そしてフェアトレードで、手芸品を取引し自国の伝統を守ることも出来ます。フェアトレードは世界を幸せにするビジネスだ、とおっしゃっていましたが本当にそうだと思います。これを広めていくためには、できるだけフェアトレード商品を購入していくべきです。しかし、価格がやはり高価なものになるのでなかなか実践できないかもしれません。だから、学校の文化祭やなにかのキャンペーンでフェアトレード商品を使い、より多くの人々にこのことを知ってもらうのが良いと思います。フェアトレードの認知度は、ヨーロッパが50%以上であるのに対し日本は14%と、かなり差があるので、広めていく活動は大切だと思います。そしてマイクロファイナンスは担保なしでお金が借りられます。実際にこれを利用して、生活が大きく向上した人々もいるので、貧困の人々を支援するのに良い方法だと思いました。

⑥私は今までフェアトレードという言葉聞いたことはあったけど、いまいちどういう意味かわかっていませんでした。けど、今回の授業でフェアトレードについてよくわかりました。私はチョコレートが好きでよく食べるけど、私が普段買っているチョコのお金はカカオの生産者には少ししか入っていないのを初めて知りました。100円のチョコのうち8円しかカカオの生産者に入っていないなんてすごく驚きました。日本はフェアトレードの認知度がすごく低いと思います。もっとフェアトレードを広めるべきだと思います。この授業を聞いて本当に良かったと思いました。今までは買い物をする時、その商品がフェアトレードかなんて気にしたことがありませんでした。けど、これからは気をつけたいと思います。そしてこれからは私ももっとフェアトレードについて人に伝えたいと思います。そして少しでも多くの人に知ってもらいたいです。そしてフェアトレードの商品がもっと増えたらいいなと思いました。

⑦今回の話は、難しかったですが、「お金」のことについて知ることができました。一個、100円のチョコレートのうち作っている人に入るお金は8円しかないことがわかりました。その作っている人でも、半分以上が14歳以下であり、学校にいけないということもわかりました。

「マイクロクレジット」についての仕組みもわかりました。お金を借りるのに審査があり、返す人にしか返さないのだなと思いました。でも借りたおかげで商売がうまくいき返す率が、99%ということは、信頼性があるなと思いました。家に帰ると「フェアトレード」のコーヒーがあり、これを買ったお金の一部がほかの国で役に立っているのだなと思いました。(岸本さん)

⑧今回は小吹岳志さんにフェアトレード・オイコクレジットとはどんなものを教えていただいた。知らないことを知るのは好きな性分なので耳をダンボにして聞かせてもらった。日本でフェアトレードの商品がいろいろあるのは知らなかった。あとグラミン銀行の金融制度で成功している人達を見ていろんな形で人を助けることができるんだなと思った。そして女性は強いなと感じさせられた。次はどんなことが学べるのか楽しみである。

⑨毎日、朝5時～夜11時まで一週間に100時間もの労働だなんて私には想像もつかないし相当大変な事だと思いました。そこには子供がたくさんいて、3人に1人が子供だなんておかしな世界がこの世にあるのに私たちはこのまま受動的に授業を受けているだけで良いのか本当に疑問に思いました。なぜ日本はもっとフェアトレードをしないのか、確かにチョコレートならば、チョコレートの定義の違いなどがあり、商品として成り立たないですが、でもフェアトレード商品はチョコレートだけではないはずで、現地の郷土品や食べ物、飲み物、他にもたくさんあると思います。どうしてこれほどまで日本は認知度が低いのか本当に疑問です。フェアトレード商品から色々な国の現状もわかってくると思います。

⑩フェアトレードについて、ある程度は知っていました。チョコレートの生産で子供が働いていることも知っていました。だけど、どれくらいの子供たちが働いていて、どれほどの人が低賃金で労働に従事しているのか考えたこともありませんでした。日本の人口をはるかに超えていました。早速さつき親に話してみました。フェアトレードの名前こそは知らなかったけどやってることは抽象的には知っていたみたいでした。そこからODAの問題に話が発展して日本の外務省・今の中国の問題にも発展してしまって話はそれた感じもしたけど、最終的に私が「うちは稼いでる立場じゃないから強くは言えんけど、なるべくフェアトレードの商品かわへん？」って聞いてみました。そしたら、今は頭の隅にこのことを置いて見つけたときに買ってみよかって言われました。正論ていやあ正論なんですけど、納得はしにくかったです。うちらがはたらける頃にはもっと日本でフ

フェアトレードの商品が増えてスーパーで買えるようになればいいなと思います。私も将来このような仕事について子供たちを助けたいなって考えています。私が使っている洗顔やボディクリームを作ってる企業も、イギリスに本社があるんですが、プランテーションで生産されていたパーム油の使用を廃止してパーム油を使わない石鹸を作っています。商品の中には消費税以外全額がパームプランテーション廃止や人権擁護や動物福祉などのNGOに寄付されているものがあります。シーズンごとにフリーペーパーでその支援の様子が記事になるので「またこれ買ってみたいかな」って思えます。また、マイクロクレジットについて今日初めて聞いた名前でした。ドラマの影響が強くて私は金融業界にはあまりいいイメージを持ってないけど、話を聞く限りいい制度やなっていました。なによりすごいと思ったのは返済率と脱貧困です。また、女性を対象にしているのもいいと思います。これで女性の地位が上がっていけば男性支配の社会から抜け出せるんじゃないかなって思いました。景気に左右されるこのような業界やけど、これからも良い結果がでる限り続いて欲しいと思います。日本人にもこのような意識を持って欲しいです。大人数がこのことについて考えて行動できる時、社会が大きく変化していけるのだと思います。

⑪私は学校へ通うことを当たり前のことだと思っていました。しかし世界には奴隷のように働かされている子どもが6人に1人いることを知り、日本の豊かさを改めて実感しました。あと、私達高校生でもフェアトレードの商品を買うことで援助ができると知りました。私は少しでも安い商品を買うようにしてます。でもそれは自分のためだけを考えて商品を買っていたのかもしれない。お金に余裕があるときはフェアトレード商品を買おうと思います。関心がないと援助をしないのならば、1人でも多くの人が援助に関心を持ってもらうために、私達のように援助について学んだ者が、援助活動を促進させていけばいいのではないかと思います。

⑫今日の授業はフェアトレードについてで、私は多文化を選択しているので、前にフェアトレードの内容は知っていたので、復習という形で、今日の授業を受けさせていただきました。フェアトレードと一般的に言われてますが、日本でその知名度はあまりに低かったのです。アメリカ、ヨーロッパでは、約半数の人々がフェアトレードについて知っていて、日本はその点では劣っていることを知りました。私はフェアトレードを一生懸命に作ったなら、広げなければ意味が無いと思います。そのフェアトレードの利益が途上国を豊かにしていくと思われるからです。フェアトレードは実際の価格よりも高くなりますが、私達はフェアトレード商品を買って、途上国の富国化に貢献するべきです。

⑬フェアトレードの講義を聞いて、家で早速フェアトレード商品を調べました。そうすると私が思っている以上にたくさんの商品があっぴびっくりしました。PEOPLE TREEのホームページで見たのですが、食べ物だけに限らず、洋服やアクセサリ、ベビー用品があっぴとても充実しているように思えました。私は紅茶が好きで、よく家で作るのですが、これからの茶葉はフェアトレード商品にしようと思えました！！

⑭今回の授業で初めて「フェアトレード」という言葉を知りました。最初はよくわからなかったけど話を聞いていくうちに「フェアトレード」ってすごいなと思いました。フェアトレードによってアフリカなど貧困の多い国の生産者に多くのお金が手に入るのだから貧困対策もできるし、生産者の人も豊かになっていくので一石二鳥だなと思いました。私は一度もフェアトレードの商品を買ったことがないので、今度コンビニでフェアトレードのオレンジジュースをちょっと高いけど買ってみたいと思います。チョコレートはさらに高いのでもう少し大人になってから買いたいと思います。

水問題の時も節約しようと思ってたけどなかなか実行できませんでしたが、フェアトレードは自分が欲しいもの

を買うだけで生産者の人のプラスになるのですぐに実行できるのでこれは続けていきたいなと思います。(仲子)

⑮今回、フェアトレードとオイコクレジットの話聞いて思ったことは、ただ一方的に援助をするのではなく、ビジネスであったり返済義務があったり、貧困に苦しむ人達であってもほとんど自分の力で生活していけるように助ける、という点が素晴らしいと思います。貧困問題を解決する方法には、ただ援助するだけでなく、様々な方法があることが分かりとても勉強になりました。

⑯今回の授業を受けて、改めて、物を買う時はなるべくフェアトレードの物にしようと思いました。世界ではまだまだ学校に行けずに労働を強いられているたくさんの子供達がいることを知り、学校に行ける自分は幸せ者だなと思いました。まだまだ認知度は低いそうですが、もっとフェアトレードが普及すれば良いなと思いました。また、マイクロクレジットについては、お金を貸した人のほぼ全員がきちんと毎週返済していることに驚きました。無担保であり、非常に良い方法だなと思いました。今よりも貧困が更に減少すれば良いなと思いました。

⑰フェアトレードについては以前にもお話を聞いたことがありましたが、結構身近にフェアトレードの商品があることを知りませんでした。だから今度買ってみようかなと思いました。

今回始めて知ったのはオイコクレジットについてですが、こんな制度があったんか！と思いました。寄付とかはたくさん聞くけど、"借りる"っていうのは驚きでした。でもちゃんとシステムがしっかり整っていて、確かにこの制度だったらお金の管理とか責任とかいろんなメリットがあってただ単にお金を貸すだけじゃないだなと思いました。こういう制度がいろんな場所で普及していけば、たくさん貧困に困っている人たちが助かるし、自立できて貧困から抜け出せると思います。時間はかかると思うし、簡単ではないと思うけど、少しずつこういった問題が解決していけばいいなと思いました。

⑱私が、小吹岳志さんのお話を聞いて思ったことは、まず、フェアトレードについては以前の多文化共生の授業で学んで知っていたのですが、以前より詳しくしれてよかったです。でも、私はこういった機会を通してフェアトレードのことを知れたけど、フェアトレードの認知度がイギリスでは82%なのに対し、日本は14%とすごく低くて残念です。イオングループやミニストップ、ナチュラルローソンでフェアトレード商品をもっと扱ったり、宣伝して欲しいと思ったし、もっといろんなお店でフェアトレード商品を扱ってほしいと思いました。また、私も買い物をするときはなるべくフェアトレード商品を買おうと思ったし、フェアトレードについて多くの人に伝えようと思いました。マイクロクレジットについては初めて知ったのですが、すごくすばらしい制度だなと思いました。インドやガーナやペルーなど貧困に苦しんでいる人が無担保でお金を借りれて、VTRで見たとように、お店の商品がそろって、たくさんのお客さんが来て、お金稼げて、ちゃんとお金を返せるというとてもいいループが出来ていると思いました。また、その結果、14年間で40%の貧困削減が出来ていて改めてもっとこの制度が普及すればいいなと思いました。

⑲フェアトレードのことは前に多分化の授業でも受けたことがあるので、ちょっとは知っていたので聞きやすかったけど、クイズが全然正解しなかったのが恥ずかしかったです。今回で初めて聞いた言葉が“マイクロクレジット”です。貧しい国の人に少額の無担保でお金を貸すことです。この方法のおかげで、貧しい国の女性の人たちは差別を受けていて家から出ずに家事をしていたけど、貸し付けを知的で計画的な女性を対象にすることによって、会社側も早く返済してもらえらるし、女性たちは外に出るようになり一石二鳥です。これにより返済率が99.5パーセントになり、貧困は40パーセントも低くなっています。すごい成果があって驚きです。でも、日本では

まだ14パーセントの人しか知っている人がいません。なので、こういう授業みたいに学校で教えたり、もっとテレビでも放送されればいいのになと思います。後は“伝えること”は大切なことだと感じました。こうやってどんどんいろんな人に伝わっていけばいいなと思います。

フェアトレードの商品は値段が高くて手が出しにくい部分がありますが貧しい人たちが豊かになれるのなら、私も余裕のあるときにはフェアトレードマークのついた商品を買って貢献出来ればいいなと思いました。

⑳この授業をうけるまで、私はフェアトレードというのを知りませんでした。しかし、このことを知ることができ良かったです。最初、フェアトレードは援助ではなくビジネスだと聞いて、私はあまり良いイメージをもちませんでした。なぜかという、前回の授業で援助だといいいながらビジネスをしている話のなかで、ビジネスによって苦しむ人がいるという話を聞いたからです。ですが、話を聞いているうちにイメージが良くなっていきました。特に、フェアトレードは先進国だけでなく、途上国にも伝統技術・文化・生活環境を守ることができ利益もできる点がすごく良いと思いました。これからフェアトレードの商品が増え、途上国の人の労働環境が改善されてほしいです。次に、マイクロクレジットです。この話もまた興味深かったです。返済率が約99%あり、持続性が高いとだれも損をすることはないし、一時的にお金を貸し、貧困層が減少するならばもっと世界にこの制度を広げるべきだと思いました。

21. この間の授業で、フェアトレードやオイコクレジットという言葉をはじめて知りました。フェアトレードを知ってた人が多いことにすごく驚きました。授業で説明をしていただいたけれど、だいたいにはわかりませんでした。でも、この2つは貧困に立ち向かっている人たちを少しでも助けることができるということはよくわかりました。もっと説明の時間があれば理解できたことも少しは多くなっただと思います。よくわからなかったので短文で失礼します。

22..今回『援助』について学んで、最初はODAのようにお金の無駄遣いで援助を受ける人々のためになるどころか、被害をあたえるような援助なんてなんの意味もないし、援助ってそもそもなんだろうって思っていました。しかし今回、中村さんのアフガンでの活動や小吹さんのお話を聞いて援助にも様々な形があってそれぞれに長所や短所があるんだなと感じました。中村さんの活動については、まったく職業が関係ないのにアフガンの人々のために自分の身を危険にさらしながら一生懸命に汗を流す中村さんに感動しました。水路建設の傍ら、土地柄にあった食用の作物、換金作物を研究している姿には、以前のODAとは違って計画的であると感じました。中村さんの話の中で、『援助は国際協力ではなく地域協力です』という言葉がとても印象的でした。また、小吹さんのフェアトレードとオイコクレジットのお話は今まで聞いたことのない話ばかりでとても新鮮でした。自分たちが今まで食べてきたものの、生産に関わっている人々の苦労や厳しい労働環境を知らんぷりしていたことに申し訳なく感じました。けど、フェアトレードの商品があんまり流通してないし値段も高いので今のわたしには簡単に買うことができないなと思いました。また、フェアトレードについてまだまだ認知度が低いことを感じました。実際、フェアトレードについて母に話したところ知らないと言っていました。マイクロファイナンスとオイコクレジットについては、画期的なアイデアだと思います。小吹さんがおっしゃっていた、自分のお金の使い方、使われ方を考えるという言葉はこれからの時代を生きる私達にとって重要なことではないかと思います。最後に、結局『援助』とは人それぞれで様々な形があって正解がないものだなと感じました。今回様々な援助のお話を聞いて私が考える『援助』は、どんな形であれ関心を持ち続け、同情ではなく相手と同じ立場に立ち、『お互い様』という心で行動することではないかと思います。

23..フェアトレードの話はこの前も聞いたとおり、私達が安くておいしいチョコやコーヒーの裏がわでは、沢山の生産者の苦労があることを再確認しました。ほんとうに矛盾だらけの世界だと思います。先進国だけ得をするのはおかしいと思います。世界では、6人に1人の子供が働いているという厳しい現実を受け止めて、もっと先進国のたくさんの人がフェアトレードのことを知って、間接的にでも、貧困問題について一緒に取り組めたらいいと思います。フェアトレードの商品を小吹さんはいくつか持ってきてくださってましたが、このフェアトレードの意味を知っている人はどれだけいるのでしょうか。私も多文化や21世紀の授業をうけていなければ知りませんでした。すこしだけ高くなってしまうですが、一生懸命働いている生産者の最低賃金を保障でき、少しでも助けになれるなら、と思うとフェアトレード商品はとても魅力的です。さっそくこれから、お母さんにフェアトレードのコーヒーを買ってきてもらうよう説得しました。消費者の圧力があれば商品を動かすことができると言っていたように、もっとたくさんの人に知ってもらいたいです。また、オイコクレジットのことは初めて知りましたが、とてもいい考えだと思ったし、少しづつ豊かになろうと頑張っている村の人々に感動しました。人に頼るばかりでなく、自分の力で生活し、豊かになるということは、彼等にとって自信もやる気も持てていいことだと思います。返済率が99%ということもビックリしました。これをきっかけに、いろんな国にこのオイコクレジットの制度を取り入れて、たくさんの人が少しづつ貧困からの苦しみから抜け出してほしいと願います。

24. まず、フェアトレードについて改めて考えることができました。商品の写真を見て、普通に売っている、見たことのあるものがたくさんあって驚きました。以前フェアトレードについて学びましたが、その対象商品に出会ったことがないと思っていたからです。すごく日本にも浸透しているんだなと感じました。中小企業を取っ払い、それに掛かっていた手数料分も生産者に行くというやり方はわかりやすくいい方法だなと思いました。どれだけ市場価格が下がっても最低賃金保証の点は生産者の方にとってはすごく頼もしいんだろうなと思いました。しかし、それでもやはり貧困はまだ無くならなくて、まだまだそういうシステムを持続していく努力が必要なんだと思いました。ですが援助ではなくビジネスという形なのが自分の中でなんとなく引っ掛かりました。世界で働かされている子供が2億人以上もいるなんて非常に驚きました。しかもその内容が酷いもので、何だか私たちはのんびりしているなと感じました。これが平和なんでしょうか。次に、オイコクレジットのお話で、お金の話は難しいなと思っていましたが、この機関で貧困が減っているという事実にもまた驚きました。銀行みたいなお金の貸し借りで貧困が軽減するということは想像出来ませんでした。そして女性がちゃんと返済出来ることにも驚きました。最近では日本でも女性の給料が男性を上回ったということを知ったことがあり、どこでも女性の地位はだんだんと男性の位に近づいているのかなと感じました。そして、私たちも知っているような銀行には、環境破壊、戦争のためにお金が使われるということなどを初めて知りました。驚愕でした。私たちのお金の使い方によっては、世界に貢献出来たり、逆に世界を破壊したりして、ものすごく責任があるなと感じました。

25. 私の家庭は、無農薬の野菜などを宅配してもらっていて、そこではたくさんフェアトレードの商品を扱っています。なのでたまに購入する事もありましたが、仕組みについてはよく知らなかったのが、今回のフェアトレードの話は興味深かったです。けれどもやはり市販の物より若干高いというのが問題だと思いました。うちの母は少々値段が高くても無農薬野菜がいいと言って購入します。それは自分の体のためであり、且つ品質の違いがあるからです。けれどフェアトレードは、市販品とはっきりとした品質の違いは無いし、値段が高くても買うなんていうのは個人個人の善意の行動だと思います。けれどもそれではやはり売れはしないと感ずます。なにか付加価値を付けるとか、品質向上に努めるとか、市販品との差別化を計るべきだと思います。そうしなければこの素晴らしいフェアトレードという仕組みが台無しだと思います。

26. 今回の話でマイクロクレジットのことを初めて知りました。だから、こんなことを言っていていかわかりませんが、国連が貧困問題にも対策をうっていることに、そしてその対策が大きな効果をもたらしていることに、とても驚きました。その政策もとても細かく、貧困に苦しむ人にも出来るような制度で、よく考えられているなあと思いました。

説明を聞いている間、少し思ったけど、貧困層の人がお金を借りてお店を開いていて、返済率も90%を超えているなら、どこも繁盛したんだろうけど、みんなが繁盛するくらいの品物を買うお金が貧困層のどこにあるのだろうと、少し疑問に思いました。それがもし貧困層の人たちが買っていったものなら、それはとてもすごい経済効果をもたらしているんじゃないかと思いました。しかし、もしマイクロクレジットを採用されなかった人たちはどうやって生活しているのだろうと思いました。その問題が無くならない限り、貧困層は永遠に無くならないんじゃないかと思います。

27. この前の授業を受けて思った事は、フェアトレードの商品とかは見たことがあって知っていたけど、仕組みがあんな風になっているとは知らなかった。単に言葉だけのイメージで何か日本の商品と外国の商品を交換して何かするイメージがあっただけでした。前からの授業で貧困はどうすることも出来ないと言ったけど、こういった小さな協力などは自分でも出来ると思った。マイクロクレジットは存在自体しなかった。ビデオをみて、こういった貧困に対する対策もとられているんだなと思った。毎回の授業でいろいろと考える事もあるし、自分なりに考え直すこともかなりあった。貧困が少しでもなくなるように、利益のためではない、これからもいろんな対策が出来たらなと改めて思った。

28. オイコクレジットはとてもいい考えだとビデオを見て思いました。お金を借りてそのお金で商売を繁盛させて滞納することなく返せるんだったら、他の人たちも利用すればいいと思います。フェアトレードも生産者にとってとてもいいものだと思います。フェアトレード商品を買って生産者にお金がよりたくさん入るなら絶対そっちの方がいいと思います。自分は今までにフェアトレード商品を見たことがなかったけれど、カタログを見るとコーヒーやチョコレートだけだと思っていたけど、バスケットボールや服まで作っていた事にとても驚きました。種類もたくさんあってすごいなと思いました。ミニストップやイオン系列のお店で売っているとおっしゃっていたので機会があれば買ってみたいと思いました。